

■令和5年度音楽研究科博士前期課程入試 実技試験内容及び課題曲

I. 作曲領域の提出作品

4曲以上（種類は問わない）の作品を提出してください。

- ※ 提出作品は楽譜またはCD(-R)やDVD(-R)等（USBメモリやSDカード等に記録した映像や音声データでも可）で提出してください。ただし少なくとも2作品は楽譜の形で提出してください。作品資料提出はコピー（A3サイズ以下）とし、氏名、題名、制作年を明記、必要があれば補足説明なども付けてください。必ず本人の制作物とします。

（作品は後日返却しますので、返却返信用封筒を同封してください）

II. 音楽学領域の研究計画書

4,000字程度の研究計画を所定の様式で、提出してください。

III. 声楽領域実技

- (1) アリアと歌曲の両方によって構成する10分以上15分以内のプログラムを組み、入学願書の「受験曲目」欄に【①作曲者名、②曲名、③曲ごとの演奏時間】を記入し提出してください。

演奏時間には曲間は含みません。実質的な演奏時間が10分未満の場合は失格とします。

- ※ アリアと歌曲の両方を必ず演奏してください。
- ※ アリアは、オペラ・アリア、オペレッタ・アリア、コンサート・アリア、あるいは宗教曲のアリアとし、原則として原調での演奏とします。
- ※ 演奏はすべて暗譜でおこなってください。
- ※ 作曲者を問わず、歌詞は原則として原語とします。
- ※ 曲目は当日指定する場合があります。

- (2) 受験者は伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。他の実技系領域の試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。

IV. 鍵盤楽器領域（ピアノ）実技

下記の(a)(b)(c)を必ず含むピアノ独奏作品による40分以上のプログラムを用意してください。

- (a) バロック時代の任意の作品
- (b) 古典派（J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethovenに限る）の任意の作品
- (c) ロマン派以降の任意の作品

※ 出版されている作品に限ります。内部奏法などの特殊奏法を用いた作品は不可。

※ (a)(b)(c)はそれぞれ複数曲の選択も可。

ただし、入学願書の「受験曲目」欄に記載した順番で演奏してください。

※ 暗譜で演奏してください。演奏をカットする場合、あるいは演奏箇所を試験当日に指定する場合があります。

V. 弦楽器領域実技

<弦楽器領域共通事項>

- (1) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (2) 他の実技系領域の試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。

○ヴァイオリン

次の2曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Sonaten für Violine solo g-moll BWV1001、a-moll BWV1003、C-dur BWV1005
より任意の Fuga を1曲。 原典版の使用が望ましい
- (2) 次のグループ(a)～(g)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。

使用版は自由

- (a) L. v. Beethoven: Konzert D-dur Op. 61
- (b) J. Brahms: Konzert D-dur Op. 77
- (c) F. Mendelssohn: Konzert e-moll Op. 64
- (d) P. Tchaikovsky: Konzert D-dur Op. 35
- (e) A. Dvořák: Konzert a-moll Op. 53
- (f) J. Sibelius: Konzert d-moll Op. 47
- (g) B. Bartók: Konzert Nr. 2 Sz. 112

○ヴィオラ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo BWV1007～1011 より任意の Prélude を1曲。
使用版は自由
 - (2) 次のグループ(a)～(c)より任意の1曲の第1楽章。
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。
- (a) W. Walton: Konzert 使用版は自由
 - (b) P. Hindemith: “Der Schwanendreher”
 - (c) B. Bartók: Konzert（遺作）

○チェロ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo Nr. 2 BWV1008、Nr. 3 BWV1009、Nr. 4 BWV1010
より任意の Prélude を1曲。 使用版は自由
 - (2) 次のグループ(a)～(d)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。
- (a) J. Haydn: Konzert C-dur Hob. VIIb: 1 使用版は自由
 - (b) J. Haydn: Konzert D-dur Hob. VIIb: 2
 - (c) A. Dvořák: Konzert h-moll Op. 104
 - (d) R. Schumann: Konzert a-moll Op. 129

○コントラバス

次の2曲を、いずれもソロチューニングで演奏（暗譜）してください。

- (1) Hans Fryba: Suite im alten Stil (A Suite in the Olden Style) für Kontrabass solo
より Prélude 使用版は自由
 - (2) 以下の協奏曲の中から1曲を選び、その第1楽章および第2楽章。
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。
使用版は自由
- Serge Koussevitzky: Konzert fis-moll
Giovanni Bottesini: Konzert Nr. 2 h-moll

○ハープ

次の2曲をすべて繰り返しなしで演奏（暗譜）してください。受験の際は本学の楽器を使用してください。

- (1) F. Godefroid: Etude de concert Op. 193 使用版は自由
- (2) C. Salzedo: Variations sur un thème dans le style ancien 使用版は自由
(8番バリエーションの終わりに明記されているカットを行なって演奏すること)

VI. 管・打楽器領域実技

<管・打楽器領域共通事項>

- ※ 打楽器B課題の受験者を除くすべての楽器の受験者は、伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。他の実技系領域の試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。
- ※ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- ※ 受験曲目については、フルート、オーボエ、バストロンボーン、打楽器の曲目以外は入学願書に記入する必要はありません。

○フルート

下記の(1)(2)を演奏してください。暗譜の必要はありません。 使用版は自由

- (1) 下記の2曲より1曲を選択し、演奏してください。
 - (a) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 1 in G Major K. 313 全楽章
 - (b) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 2 in D Major K. 314 全楽章
 - ・カデンツァ付き、カデンツァは任意のもの。
 - ・演奏箇所は当日指定します。
- (2) 自由曲（ただし、協奏曲は除く）
 - ・1800年以降、フルートのために作曲された作品から1曲選択すること。
 - ・7分～8分程度で演奏すること。カットして演奏することも可。
 - ・無伴奏曲も可。

○オーボエ

下記の(1)(2)を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) W. A. Mozart: Concerto in C major K. 314 第1、2楽章<カデンツァ付き>

使用版は自由

- (2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。

- (a) H. Holliger: Sonate für Oboe solo より

Schott 版

I Präludium と II Capriccio

- (b) A. Dorati: 5 pièces pour le hautbois より

Boosey & Hawkes 版

第1曲と第5曲

- (c) G. Silvestrini: 6 études pour le hautbois より

Delatour 版または Editions du Hautbois 版

第1曲と第6曲

○クラリネット

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: Konzert für Klarinette und Orchester K. 622

第1・3楽章はカデンツァなし、第2楽章はカデンツァありで演奏してください。

- (2) I. Stravinsky: Three Pieces for Clarinet Solo

○ファゴット (バスーン)

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

- (1) F. Devienne: Sonata in F Op. 24 No. 3

1. Allegro 2. Largo 3. Rondo Allegretto

- (2) E. Bozza: Récit, Sicilienne et Rondo

○サクソフォーン

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

J. Ibert: Concertino da camera 全楽章

Leduc 版

○ホルン

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

R. Strauss: Concerto for Horn and Orchestra No.1 in E flat major, Op. 11

使用版は自由

全楽章を演奏、ただし伴奏部分カットあり。カットの箇所は以下を参照。

- ・第1楽章…冒頭から演奏後、7小節目に入らず25小節目に入り131小節目まで(ピアノは初めの和音を二分音符分伸ばして終わる)演奏する。
- ・第2楽章…Andante部分から演奏開始、そのまま第3楽章最後まで演奏する。

○トランペット

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

Henri Tomasi: Concerto pour Trompette et Orchestre

Leduc 版

○トロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concertino in E \flat , Op. 4 Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。
- (2) Vincent Persichetti: Parable for Solo Trombone Op. 133 Theodore Pressere Company 版
暗譜の必要はありません。

○バストロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concerto (Concertino) in B \flat for Bass Trombone Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。
- (2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。暗譜の必要はありません。
- (a) J. S. Bach: Cello Suite No. 5 BWV1011 より Sarabande 使用版は自由
繰り返しありで演奏してください。
- (b) F. Hidas: Meditation 使用版は自由
- (c) Walter S. Hartley: Sonata Breve 全楽章 使用版は自由

○ユーフォニアム

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) J. S. Bach: Sonate en Trio No. 1 BWV525 より第1楽章 Gerard Billaudot 版
- (2) J. Horovitz: Euphonium Concerto 全楽章 Novello 版

○チューバ

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

Jan Koetsier: Concertino Op. 77 for Tuba and String Orchestra Editions Bim 版

○打楽器

以下の **A 課題** または **B 課題** のどちらかを選択してください。

A 課題 下記の2曲を演奏してください。

- (1) セットアップを含む楽器編成による任意の楽曲(10分程度、省略可)
- (2) ティンパニによるオーケストラスタディ
Georg Friedrich Händel / Der Messias HWV56 より Hallelujah (ピアノ伴奏付き)
ピアノ伴奏譜は Breitkopf 版 (Edition Breitkopf 2419) を使用してください。

- ・課題(1)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・入学願書の「受験曲目」欄に、使用する楽器(持参する楽器も含む)を記入してください。
- ・大物打楽器は本学所有のものを使用いただけますが、持参する楽器がある場合は、出願の際に申し出て、搬入・搬出方法について本学と協議してください。
- ・課題(1)の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。

B 課題 下記の曲を演奏してください。

マリンバによる、12分程度の無伴奏独奏曲（省略不可）。暗譜で演奏してください。

（参考例）向井耕平：Prelude and Allegro、A. Viñao: Khan Variations、
J. Schwantner: Velocities、R. R. Bennett: After Syrinx II

- 上記の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- 上記の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。
- マリンバは本学所有のもの（ヤマハ：YM-5100A）を使用してください。

■令和5年度音楽研究科博士前期課程入試 試験問題

西洋音楽史（作曲／声楽／鍵盤楽器／弦楽器／管・打楽器領域）

【試験問題】

- I. バロック時代の音楽について、次の（１）～（４）からひとつ選び、具体的な作品を挙げながら論じてください。文字数の制限はありません。
- （１）オペラ
 - （２）宗教音楽
 - （３）鍵盤音楽
 - （４）合奏曲
- II. 19世紀の100年間における西洋音楽について、主要な作曲家による作品を挙げながら、音楽様式の変遷について具体的に説明してください。文字数の制限はありません。
- III. 次の表の①～⑩にあてはまるものを、下記の（あ）～（ろ）から選んでください。

生没年	作曲家名	代表作品	キーワード
1300頃-1377	①	《ノートル・ダム・ミサ》	⑪
1525/6-1594	②	《教皇マルチェルスのみサ》	対抗宗教改革
1563-1626	J. ダウランド	《流れよ、私の涙》	⑫
1567-1643	③	《オルフェオ》	サン・カッシアーノ劇場
1685-1750	J. S. バッハ	《アダムの墮落によって》	⑬
1710-1736	④	《奥様女中》	⑭
1732-1809	J. ハイドン	《ザロモン交響曲》	⑮
1770-1827	⑤	交響曲第3番《英雄》	ハイリゲンシュタットの遺書
1803-1869	⑥	《幻想交響曲》	⑯
1810-1856	⑦	《謝肉祭》	性格的小品
1813-1883	⑧	《トリスタンとイゾルデ》	⑰
1874-1951	A. シェーンベルク	《ピアノ組曲》	⑱
1910-1995	P. シェフェール	《一人の男のためのシンフォニー》	⑲
1912-1992	⑨	《易の音楽》	⑳
1925-2003	⑩	《シンフォニア》	ポスト・モダン

【作曲家名】

	作曲家名
あ	A. コレツリ
い	R. シューマン
う	G. B. ベルゴレーシ
え	L. ベリオ
お	R. シュトラウス
か	ギョーム・ド・マショー
き	パレストリーナ
く	F. メンデルスゾーン
け	A. ベルク
こ	H. イザーク
さ	ギョーム・デュファイ
し	C. P. E. バッハ
す	R. ヴァーグナー
せ	H. パーセル
そ	O. メシアン
た	H. ベルリオーズ
ち	L. v. ベートーヴェン
つ	J. ケージ
て	C. モンテヴェルディ
と	F. ショパン

【キーワード】

	キーワード
な	多感様式
に	ダブル・エスケープメント
ぬ	12音技法
ね	イデー・フィクス
の	リュート歌曲
は	モノディー様式
ひ	ブフォン論争
ふ	家具の音楽
へ	マドリガーレ
ほ	非可逆リズム
ま	2管編成
み	アイソリズム
む	グルック=ピッチェニ論争
め	ライトモチーフ
も	原始主義
ら	チャンス・オペレーション
り	オルガナム
る	コラール前奏曲
れ	ミュージック・コンクレート
ろ	通模倣様式

【出題の意図】

大学院での研究に必要な音楽史の基礎的知識を備えているかを問う。音楽史におけるさまざまな様式を認識し、それを歴史的な脈絡で捉えるための知識が必要とされる。

【解答】

I (記述式問題のため、省略)

II (記述式問題のため、省略)

III ①か ②き ③て ④う ⑤ち ⑥た ⑦い ⑧す ⑨つ ⑩え ⑪み ⑫の ⑬る ⑭ひ ⑮ま ⑯ね
⑰め ⑱ぬ ⑲れ ⑳ら

音楽学 (音楽学領域)

【試験問題】

I 別紙①と別紙②の文章を参考にして、あなたが音楽史を記述するとしたら、どのような音楽史を記述するかについて自由に論じてください。なお、文字数の制限はありません。

【出典】

- ・中村公輔『名盤レコーディングから読み解くロックのウラ教科書』(2018年)
- ・周東美材「ちんどん屋のライフストーリー」(2007年)

II 次の(1)～(8)からひとつ選び、論じてください。なお、文字数の制限はありません。

- (1) 戦争と音楽家
- (2) 民俗音楽と録音収集
- (3) 西洋音楽と異国趣味
- (4) 大衆芸能と音楽
- (5) 民族音楽と国家
- (6) ポピュラー音楽と楽曲分析
- (7) 芸術音楽とAI
- (8) ロックミュージックと Primary Text

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な基礎的知識および理解力、資料読解力、論述力を備えているかを問う。

【解答】(記述式問題のため、省略)

外国語 [英語・独語・仏語・伊語] (作曲/声楽/鍵盤楽器/弦楽器/管・打楽器領域)

【出題の意図】

大学院での研究に必要な外国語の文献を理解する能力を備えているかを問う。外国語の文章の語句、節、文レベルの理解だけでなく、段落全体の論旨の展開を把握する読解力が必要とされる。また、解答に際しては原文の理解を正確な日本語で訳出することが求められる。

【出典】

- [英語]・Thompson, William F., and Laura-Lee Balkwill. "Cross-Cultural Similarities and Differences." In *Handbook of Music and Emotion: Theory, Research, Applications*, edited by Patrick N. Juslin and John A. Sloboda. Oxford: Oxford University Press, 2010.
- ・Wolff, Janet. "The Ideology of Autonomous Art." in *Music and Society*:

The Politics of Composition, Performance and Reception, edited by Richard Leppert and Susan McClary. Cambridge: Cambridge University Press, 1987.

〔独語〕・Thomas Bernhard: *Der Untergeher*. Suhrkamp 1983.

〔仏語〕・Madame de Staël, *De l'Allemagne*(1813), GF-Flammarion, Paris, 1968.

〔伊語〕・Paola Geri, *Manuale d'italiano per cantanti d'opera*,2004, Guerra
・Mauro Pichiassi - Giovanna Zaganelli, *Contesti italiani*,1992, Guerra

外国語〔英語〕（音楽学領域）

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な、語学の能力を備えているかを問う。

【出典】

〔英語〕・Jon Banks. “Brahms’s Hungarian Dances and the Early ‘Csárdás’ Recordings.” *Music & Letters*. Vol. 102, No. 4.

・Rudolf Rasch ed. *Music Publishing in Europe 1600-1900: Concepts and Issues, Bibliography*. Berliner Wissenschafts-Verlag, 2005.

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

（閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで）